

2025年度 一般選抜 学力検査 (選択科目)

## 世界史探究

解答番号  ~

FW3

世

【1】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

(a) ケルト人は前6世紀頃、現在の南ドイツの地域を中心に居住していたと考えられているが、やがて、やや西にその重心を移し、イベリア半島、ガリア（現在のフランス）、さらにブリテン諸島などにも進出した。しかし、ローマの A によるガリア遠征によって、ガリアはローマの支配に服するようになった。 A は、大ブリテン島にも遠征を行ったが、この遠征は短期間で終わり、大ブリテン島にローマの支配が本格的に及ぶようになるのは、紀元1世紀半ば以降のことである。ただし、ローマは大ブリテン島全体を支配できたわけではない。ブリテン島北部の住民は、頑強に抵抗を続けたため、ついに皇帝 B は支配地域を防衛するための長城を建設せざるを得なかった。こうした限界はあったが、ローマ帝国の支配は、5世紀初めまで続くことになる。

バルト海沿岸が居住地と考えられている (b) ゲルマン人はケルト人を西に圧迫しながら勢力を拡大し、紀元前後にはローマ帝国と境界を接するようになっていた。さらに4世紀後半になると大規模な移動を開始し、ついには、ローマ帝国域内へも侵入するようになった。こうしたゲルマン人の大移動には気候変動、人口増加、 C 人の圧迫など複数の要因が影響していた。

(c) 4世紀末にローマ帝国は東西に分裂したが、とりわけ、西ローマ帝国はこのゲルマン人の侵入に持ちこたえることができず、 D 年に滅亡した。その前後、 (d) 侵入してきたゲルマン人諸部族は各地に王国を立て、東ローマ帝国との抗争や互いの抗争を繰り返したが、やがて (e) フランク人の王国が有力になり、最終的に、 (f) ランゴバルト王国が (g) カール大帝に征服されることによって、 (h) フランク王国が一部を除き西ヨーロッパの主要部分を統一した。

問1 下線部(a)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、1。

- ① ケルト人の言語は、アルタイ語族に属しているものである。
- ② 神々と妖精が交わり合う神話がケルト文化の特徴の一つである。
- ③ ケルト人は鉄製の武器を有していた。
- ④ ケルト文化はウェールズの地域的独自性を主張する文化的基盤とされている。

問2 **A** に当てはまる、この遠征について記した『ガリア戦記』を残した人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**2**。

- ① カエサル                      ② スラ                      ③ アントニウス  
④ ポンペイウス                  ⑤ マリウス

問3 **B** に当てはまる、ローマ帝国の五賢帝の3人目にあたる皇帝は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**3**。

- ① ネルヴァ帝   ② トラヤヌス帝   ③ マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝  
④ アントニヌス=ピウス帝                  ⑤ ハドリアヌス帝

問4 下線部(b)について、大移動以前のゲルマン人社会を記した重要史料として『ゲルマニア』がある。この書の著者であるローマの歴史家は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**4**。

- ① リウィウス                      ② タキトゥス                      ③ トウキディデス  
④ ヘロドトス                      ⑤ ポリビオス

問5 **C** に当てはまる騎馬遊牧民はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**5**。

- ① キルギス                      ② マジャール                      ③ スキタイ  
④ ウイグル                      ⑤ フン

問6 下線部(c)について、キリスト教を国教とし、その死に際してローマ帝国を二人の息子に分与したことで、東西ローマ帝国の分裂をもたらした皇帝は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**6**。

- ① コンスタンティヌス帝   ② カラカラ帝                      ③ テオドシウス帝  
④ ディオクレティアヌス帝   ⑤ ロムルス=アウグストゥルス帝

問7 **D** に当てはまる西暦年はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**7**。

- ① 410年                      ② 451年                      ③ 476年  
④ 481年                      ⑤ 493年

問8 下線部(d)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**8**。

- ① ブルグンド人はガイセリック王に率いられ、イベリア半島を経て、北アフリカに入り、カルタゴの故地にブルグンド王国を建てたが、ガイセリック王の死後、東ローマ帝国に滅ぼされた。
- ② 西ゴート人はアッティラ王に率いられガリアに侵入し、ガリアとイベリア半島を支配する西ゴート王国を建てたが、アッティラ王の死後、フランク王国に滅ぼされた。
- ③ ヴァンダル人はアラリック王のもとで、ジュネーヴを中心としてガリア南東部にヴァンダル王国を建てたが、アラリック王の死後、フランク王国に滅ぼされた。
- ④ 東ゴート人はイタリアに入り、ラヴェンナを都としてオドリック大王のもとで繁栄したが、その死後、東ローマ帝国に滅ぼされた。

問9 下線部(e)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**9**。

- ① カロリング家のクローヴィスがフランク人を統一し、フランク王国を建国した。
- ② フランク王国はゲルマン諸王国の中で初めてアリウス派のキリスト教国となった。
- ③ 宮宰カール=マルテルが、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍を破った。
- ④ ピピン（小ピピン）がローマ教皇の承認のもと、メロヴィング朝を建てた。



問11 下線部(g)について、[1]カール大帝に関する記述として誤っているものはどれか。[2]800年、クリスマスの日、ローマにおいてカールに戴冠した教皇は誰か。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**11**・**12**。

[1] ① 巡察使の制度を確立した。

② アヴァール人を討った。

③ ラヴェンナやウルビーノを教皇に寄進した。

④ 神学者アルクインを宮廷に招いた。

**11**

[2] ① グレゴリウス1世

② インノケンティウス3世

③ ボニファティウス8世

④ レオ3世

**12**

問12 下線部(h)について、ドイツ北部一帯に定住していたゲルマン人で、一部はブリテン島に渡ったが、大陸に残った部族が境を接していたフランクをおびやかし続けた一派がある。最終的にはカール大帝に服従し、カトリックに改宗したこのゲルマン人の一派はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**13**。

① ノルマン人

② フィン人

③ ザクセン人

④ エトルリア人

【2】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

モンゴル帝国は、13 世紀初頭に <sup>(a)</sup> チンギス=カン (ハン) によって建国された、  
史上最大規模の帝国である。その後、<sup>(b)</sup> 彼とその子孫たちはユーラシア大陸全域  
にわたる大規模な征服活動を展開した。

チンギス=カン (ハン) の死後、帝国は彼の息子たちによって統治され、それぞ  
れが西アジア、東ヨーロッパ、中央アジア、東アジアにかけての広大な領域を征服  
した。これにより、モンゴル帝国は急速に拡大し、ユーラシア大陸の多くの地域を  
支配下に置くことになった。この過程で、**A** は中国の <sup>(c)</sup> 金を滅ぼし、**B** は  
ヨーロッパで <sup>(d)</sup> キエフ公国 を服属させてさらに西進し、**C** は西アジアの <sup>(e)</sup> アッ  
バース朝 を倒した。

モンゴル帝国の支配には、他の征服者たちと異なる点はいくつか存在する。まず、  
<sup>(f)</sup> 卓越した軍事力を誇り、広大な領土を短期間で征服し、征服地における支配体制  
を整えるための努力も行った。 また、モンゴル軍は戦術面での柔軟性を持ち、敵国  
の技術や戦術を取り入れることで、その戦闘力をさらに高めた。これにより、各地  
での戦闘において多くの勝利を収めた。さらに、<sup>(g)</sup> 交易路の整備にも注力し、東  
西の交流を活性化させた。 これにより、シルクロードを中心に東西の文化や技術の  
交流が促進され、ユーラシア大陸全域での経済活動が活発化した。

しかし、モンゴル帝国はその広大な領土を効果的に管理することの難しさから、  
14 世紀に入ると次第に分裂が進んだ。チンギス=カン (ハン) の孫 <sup>(h)</sup> クビライ が  
元朝を中国に建てた一方で、他の後継国家としては中央アジアの **D** =ハン国、  
西アジアの **E** =ハン国、南ロシアを中心とした **F** =ハン国がそれぞれ独立  
した国家として分かれていった。これらの国家は、それぞれの地域で独自の発展を  
遂げたが、次第にモンゴル帝国としての一体性を失っていった。

<sup>(i)</sup> 元朝は 14 世紀半ばに明朝によって北方へと追いやられ、その他のモンゴル系  
国家も次第に衰退していった。 それでもモンゴル帝国が築いた文化的、経済的影響  
は後世にまで残り、ユーラシア大陸における多様な文化の融合と交流の基盤となっ  
たと言える。



問5 下線部(d)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**18**。

- ① キエフ公国の首都キエフ（現キーウ）はヴォルガ川の河畔にある。
- ② 大公リュールクはギリシア正教を受容した。
- ③ ウラディミル1世はビザンツ帝国の皇女と結婚した。
- ④ クヌートに率いられたデーン人が建国したが、後にスラヴ化した。

問6 下線部(e)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**19**。

- ① ムハンマドの叔父の子孫がウマイヤ朝を倒して建国した。
- ② 第2代カリフ、マンスールは新都バグダードを建設した。
- ③ 非アラブ人のイスラーム改宗者を指すマワーリーが政府高官を占めるようになった。
- ④ 第5代カリフ、ムアーウィヤの時代にアッバース朝は最盛期をむかえた。

問7 下線部(f)について、モンゴル帝国によるユーラシアの迅速な征服と支配に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**20**。

- ① モンゴル帝国は、強力な騎馬軍団と優れた戦術を用いて広大なユーラシア大陸を迅速に征服し、厳格な中央集権的な支配を行った。
- ② モンゴル帝国は、一定の距離ごとに宿駅を配置し、宿駅間の交通手段や通信ネットワークを整備し、物資や情報の流通を迅速化する駅伝制を作った。
- ③ モンゴル帝国の支配は、征服地に対する大規模な破壊と同化政策により進められ、現地の文化や宗教を抑圧し、一元的なモンゴル文化を強制した。
- ④ トルコ系の奴隷であるマムルークが軍人として登用されるようになり、徐々に騎馬軍団の中核を担うようになった。

問8 下線部(g)について、モンゴル帝国による交易に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**21**。

- ① チングス=カン (ハン) は、熱帯地方の産物の獲得を目指して東南アジア遠征を行った。
- ② 主にソグド商人が交易を担い、彼らはゾロアスター教をモンゴル帝国に伝えた。
- ③ 北方に豪商イェルマークを差し向け、毛皮等の交易を行った。
- ④ モンゴル帝国の交易では銀が主に決済のために用いられた。

問9 下線部(h)について、[1]クビライが1264年に遷都した都市はどれか。[2]元朝に関する記述として誤っているものはどれか。[1]は①～⑥の中から、[2]は①～④の中から、それぞれ一つ選びなさい。解答番号は、**22**・**23**。

- [1] ① カラコルム                      ② 南京                                      ③ 杭州  
④ 敦煌                                      ⑤ 大都                                      ⑥ ブハラ

**22**

- [2] ① クビライに仕えた郭守敬は各地で多くの水利事業を展開した。  
② 元軍の日本遠征は失敗するも、日元貿易は後に復活した。  
③ チベット仏教の高僧が作成したキリル文字が公文書で用いられた。  
④ 色目人と呼ばれるイラン系や中央アジアの人々が官僚として重用された。

**23**

問10 **D**・**E**・**F**に入るモンゴル帝国のハン国の名称の組み合わせとして正しいものはどれか。次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**24**。

- ① D：チャガタイ、E：キプチャク、F：イル
- ② D：キプチャク、E：イル、F：チャガタイ
- ③ D：チャガタイ、E：イル、F：キプチャク
- ④ D：イル、E：チャガタイ、F：キプチャク
- ⑤ D：イル、E：キプチャク、F：チャガタイ
- ⑥ D：キプチャク、E：チャガタイ、F：イル

問11 下線部(i)について、元朝を含むモンゴル系国家の衰退に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、25。

- ① 朝鮮半島で新たに興った高句麗の軍が元軍に壊滅的な被害を与えた。
- ② アンカラの戦いに勝利したオスマン帝国軍が侵攻し、モンゴル帝国の交易路や行政機構を寸断した。
- ③ 元朝末期、靖難の役に代表される内乱が頻発した。
- ④ 疫病が蔓延し、気候変動による天災も起こり、紅巾の乱が起こるなど社会の混乱が続いた。

【3】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

「病」はどうしても人間に付きまとう。そのため、古来、病をどう克服するかは大きな問題だった。すでに<sup>(a)</sup>古代ギリシアにおいて、病に対応するための「医」についての思想は展開されていた。また、疫病の流行は、人類の歴史そのものに多大な影響を与えてきた。<sup>(b)</sup>ペロポネソス戦争中にアテネで流行した疫病もその一つである。アテネの兵力と市民に甚大な被害をもたらし、戦争の行方にも大きな影響を与えた。

古代から中世にかけて頻発したペストは疫病の代表例である。14 世紀、ペストはヨーロッパに広まり、「黒死病」として知られるようになった。とりわけ、<sup>(c)</sup>1348 年頃から始まった大流行は、ヨーロッパ全土で甚大な被害をもたらし、その後のヨーロッパの経済・社会・文化に大きな影響を与えた。

15～16 世紀にかけて、アメリカ大陸に到達したヨーロッパ人は、征服に伴う虐殺や支配地での酷使によるだけでなく、先住民がまだ免疫を有していなかった天然痘や麻疹あるいはインフルエンザとも考えられる病を持ち込んだことによって、先住民人口の激減をもたらした。そのため、中南米を支配したスペインやポルトガルはアフリカから<sup>(d)</sup>黒人を奴隷として輸入した。17 世紀になると、大陸だけでなく、西インド諸島でも、スペイン、イギリス、オランダ、フランスなどが、<sup>(e)</sup>商品作物栽培を目的とした大農園の労働力として、黒人奴隷を多数使用するようになった。

17 世紀以降、科学革命は医学の分野にも及んだ。血液循環説が 17 世紀の間に認められるようになり、18 世紀末には、古来人類を悩ましてきた感染症の一つである<sup>(f)</sup>天然痘の発症を予防する種痘法の理論化がなされた。

この時期は、産業革命の時期でもあった。無秩序に進んだ都市化の結果、都市の住環境・公衆衛生環境が悪化し、様々な疫病が広がり、多くの死者を出した。19 世紀に入ってから代表的なパンデミックとして<sup>(g)</sup>コレラがあるが、そうしたパンデミックは、上下水道の整備をはじめとする都市改造の必要性を人々に感じさせた。その代表的なものがオスマンによって推進された **A** の改造である。

20 世紀には、<sup>(h)</sup>抗生物質の発見が社会に大きな影響を与えた。抗生物質の普及により、多くの感染症が治療可能となり、死亡率が大幅に低下した。また、<sup>(i)</sup>第二次世界大戦以降、分子生物学が飛躍的な発展を遂げ、難病治療の医薬品開発などに

大きな可能性を提供しているが、他方では、生命倫理にかかわる深刻な問題をも提起している。

問1 下線部(a)について、古代ギリシアにおいて、四体液説を唱えるとともに、呪術的でない科学的な態度による医療を目指し、「西洋医学の祖」とされる医学者は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**26**。

- ① アルキメデス                      ② ヒッポクラテス                      ③ プラトン  
④ エラステネス                      ⑤ プラクシテレス

問2 下線部(b)について、[1]この出来事に関する記述として誤っているものはどれか。また、[2]この戦争中に疫病に罹患して命を落としたアテネの指導者は誰か。[1]は①～④の中から、[2]は①～⑤の中から、それぞれ一つ選びなさい。解答番号は、**27**・**28**。

- [1] ① ペロポネソス戦争の一因には、デロス同盟とペロポネソス同盟の対立がある。  
② ペロポネソス戦争の発端はアテネとコリントスの紛争だった。  
③ サラミスの海戦でのアテネ海軍の敗北が、ペロポネソス戦争の帰趨<sup>きすう</sup>を決めた。  
④ ペロポネソス戦争において、ペルシアの支援を受けたスパルタにアテネは降伏した。 **27**

- [2] ① ペリクレス                      ② アリスタルコス                      ③ テミストクレス  
④ ペイシストラトス                      ⑤ ソロン **28**

問3 下線部(c)について、[1]ペストの流行に対して教会や聖職者が効果的な対策を打てなかったことが教会の権威の低下に影響したが、14世紀後半、聖書こそが信仰の最高権威であるとしてその英訳を試み、教皇や聖職者階層制の権威を否定したイギリス(イングランド)の神学者は誰か。[2]黒死病(ペスト)のために郊外へのがれた男女10人が語った物語を集めた体裁の作品、『デカメロン』を書いたイタリアの人文主義者は誰か。[3]この黒死病(ペスト)の大流行以後の14世紀後半から15世紀前半の出来事に関する記述として正しいものはどれか。それぞれ、①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**29**～**31**。

[1] ① ウィクリフ                      ② エウセビオス                      ③ アウグスティヌス  
④ アタナシウス **29**

[2] ① ダンテ                              ② ペトラルカ                      ③ ボッカチオ  
④ エラスムス **30**

[3] ① フランスではワット=タイラーの乱がおきた。  
② イギリス東南部ではジャックリーの乱がおきた。  
③ ベーメンではフス戦争がおきた。  
④ ドイツではカルマル同盟が結成された。 **31**

問4 下線部(d)について、その後、中南米社会では、黒人と白人の混血も生まれるようになった。この人々を何と呼んだか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**32**。

① メスティーツ                      ② ペニンスラール                      ③ クリオーリョ  
④ ムラート

問5 下線部(e)について、こうした大農園を何と呼ぶか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**33**。

① プランテーション                      ② エンコミエンダ                      ③ ティマール  
④ アシエント

問6 下線部(f)について、種痘法を開発した人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**34**。

① ジェンナー                              ② ハーヴェー                              ③ ダーウィン  
④ ファラデー                              ⑤ ナイティンゲール

問7 下線部(g)について、コレラ菌を発見した人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ  
選びなさい。解答番号は、**35**。

- ① パストゥール                      ② メンデル                      ③ ヘルムホルツ  
④ ノーベル                              ⑤ コッホ

問8 **A** に当てはまるヨーロッパの都市はどれか。次の①～④の中から一つ選  
びなさい。解答番号は、**36**。

- ① ウィーン                              ② ベルリン                      ③ パリ  
④ ロンドン

問9 下線部(h)について、ペニシリンを発見した人物は誰か。次の①～⑤の中  
から一つ選びなさい。解答番号は、**37**。

- ① クリック                              ② ワトソン                      ③ フレミング  
④ アインシュタイン                  ⑤ キュリー夫妻

問10 下線部(i)について、1953年の医学的・生物学的成果として正しいもの  
はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**38**。

- ① ヒトゲノムすなわち人間の遺伝子配列の解読が完了した。  
② iPS細胞（人工多能性幹細胞）が開発された。  
③ 遺伝子の基本となるDNAの二重らせん構造が発見された。  
④ 人間のクローン化にもつながる羊・牛のクローン技術が実用化された。  
⑤ 新型コロナウイルス（COVID-19）ウイルスが発見され、それに対するワクチンが実用  
化された。





問6 下線部(d)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**44**。

- ① 首相ティトーがソ連に支援を求めた。
- ② 独立を目指しカダフィが民族解放戦線 (FLN) を結成した。
- ③ 独立を巡ってフランス世論が二分し第四共和政が崩壊した。
- ④ サーリーフが独立後の選挙でアフリカ初の女性大統領となった。

問7 下線部(e)に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**45**。

- ① 北部アラブ人地域と南部黒人地域が激しく対立した。
- ② 独立後2度の内戦を経て南部は南スーダンとして独立した。
- ③ ムハンマド=アフマドに率いられたマフディー運動が起こった。
- ④ エジプトによる委任統治から独立した。

問8 下線部(f)について、独立後のナイジェリアに関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**46**。

- ① イボ人が「ビアフラ共和国」として独立を宣言したものの、イギリス・ソ連の援助を受けた政府軍が、フランスなどの援助を受けたビアフラ共和国の軍を制圧した。
- ② プール人が「メリナ王国」として独立を宣言したものの、フランスの援助を受けた政府軍が、イギリス・ソ連の援助を受けたメリナ王国の軍を制圧した。
- ③ ヌビア人が「クシュ王国」として独立を宣言したものの、イギリス・フランスの援助を受けた政府軍が、ソ連などの援助を受けたクシュ王国の軍を制圧した。
- ④ ソンガイ人が「トランスヴァール共和国」として独立を宣言したものの、フランス・ソ連の援助を受けた政府軍が、イギリスの援助を受けたトランスヴァール共和国の軍を制圧した。

問9 下線部(g)について、1965年にこの地域は独立を宣言するが、独立時およびその後の経緯に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**47**。

- ① 白人勢力が独立を一方的に宣言した。
- ② 独立時にローデシアと改称した。
- ③ 独立後、アフリカ人の民族独立闘争が高まった。
- ④ 独立から15年後、アフリカ人組織の連合政権が発足し、アンゴラとしてあらためて独立した。

問10 下線部(h)について、[1]白人政党である国民党の党首としてアパルトヘイトの撤廃を進めた大統領は誰か。[2]南アフリカによるアパルトヘイトに関する記述として誤っているものはどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**48**・**49**。

- [1] ① ジョゼフ=チェンバレン      ② デュボイス      ③ ハイレ=セラシエ  
④ アラファト      ⑤ デクラーク **48**

- [2] ① アフリカーンス語で「隔離」を意味する。  
② 南アフリカ共和国が成立すると直ちにアフリカ民族会議(ANC)は合法とされた。  
③ アパルトヘイト政策強化の一環として非白人の選挙権が剥奪された。  
④ アパルトヘイト政策強化の一環としてアフリカ系住民の市民権が剥奪された。  
⑤ 反アパルトヘイト団体の活動は弾圧された。 **49**